

進路だより



2025年5月9日(金)
福島県立あさか開成高等学校
進路指導部 第2号

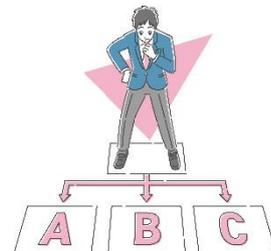
地道な努力 進路指導部長より

新年度のあわただしさに追われているうちに、気がつけばゴールデンウィークに突入していました。気分転換を兼ねて喜多方へラーメンを食べに出かけた際、立ち寄った会津の桜峠では、桜の花が咲き乱れ、遅い春を存分に堪能することができました。

桜の木は、冬の間じっと寒さに耐え、葉を落とし、表面上は何もしていないように見えます。しかし実は、この時期にこそ来年咲かせるための花芽をじっくりと育てているのです。寒さを感じることで、「春が来たら咲こう」と静かに準備を始めるのです。やがて日が長くなり、気温が少しずつ上がるにつれて、桜の木は目を覚まし始めつぼみがふくらみ、その美しさをゆっくりと世に現していきます。

一斉に花が咲く光景は、長い時間をかけて積み重ねてきた努力が、ついに形となって現れる瞬間のようでした。何かを成し遂げるためには、しっかりとした土台が必要です。

中間考査に向け、しっかり勉強して下さい。



第1回進路希望調査の集計結果 令和7年4月10日実施

進路希望	1年			2年			3年		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計
大学	31	9	40	40	14	54	46	12	58
短大	9	0	9	10	0	10	13	0	13
大学校	0	0	0	0	1	1	0	0	0
専門学校	64	4	68	75	6	81	56	12	68
就職	10	2	12	2	1	3	12	1	13
留学(外国学校)	4	1	5	2	2	4	0	0	0
その他進路・進路未定	27	2	29	3	1	4	1	0	1
在籍者数	145	18	163	132	25	157	128	25	153

学問系統別集計	1年			2年			3年		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計
看護・医療	24	1	25	25	2	27	44	4	48
教育・保育	6	1	7	9	2	11	3	1	4
語学・国際	25	5	30	15	3	18	8	4	12
美容・ブライダル	27	4	31	36	4	40	21	4	25
食物栄養・調理	12	0	12	12	0	12	10	0	10
その他	16	2	18	29	11	40	29	10	39
進学希望者数	110	13	123	126	22	148	115	23	138

先輩の声!! ～保育の現場・学びの場から～



武田 梨央奈さん(24期生) 郡山女子大学短期大学部 卒 ➡ アスク八山田保育園

私の高校生活は新型コロナウイルスの影響で思い描いていた高校生活とは違いました。しかし、今を楽しもうとクラスの友達と遊んだり部活動の仲間と切磋琢磨しながら練習したり、周りの友達や先生方のおかげとても充実した高校生活でした。

私は保育園の頃の担任の先生に憧れて保育者という職業に興味を持ちました。そして附属幼稚園での実習を通して実践力を身につけられ、さらにはピアノの個人レッスンが受けられる点などに魅力を感じ、郡山女子大学に進学しました。一年次から実習があり、保育現場で実際に子どもと触れ合いながら保育者の動きや子どもとの関わり方を見たり、先生の立場で子どもと生活をしたりすることで基本的な技術やスキルを学ぶことができました。

現在、私はアスク八山田保育園で働いています。入社前は子どもとの関わり方や保護者対応など不安なことはありましたが、子どもたちと笑顔でコミュニケーションをとり、少しずつ信頼関係を築いていきました。毎日の生活や行事を通して子どもが成長していく過程を見守ることができたり、保護者から嬉しい話を聞いたりした時は保育士になって良かったと心から感じました。また、保育士になって思ったことは毎日学んでいるということです。先輩方から学ぶことはもちろん、子どもの発想力やお互いを思いやる気持ちなど子どもから学ぶことも多くあるため、これからも子ども一人ひとりに寄り添える保育士を目指して学び続けていきたいです。

最後に、子どもの成長を近くで見守ることができ、子どもたちの笑顔や元気いっぱいの姿からたくさんのやりがいを感じて自分も大きく成長できる保育士という仕事は本当に素敵な仕事だと思います。子どもの命を預かるという上で責任があり、大変なことももちろんありますが日々学びながら、可愛い子どもや優しい職員に囲まれて毎日充実した日々を送っています。



山口 美桜さん(26期) 郡山女子大学短期大学部(幼児教育学科) 在籍

私は、自分が幼稚園生の時にお世話になった担任の先生に憧れて保育者を志すようになり郡山女子大学で保育を学びたいと思いました。実際に郡山女子大学に入学して良かったと思う点はたくさんあり、その中でも私が特に良かったと思うことの1つ目はアドバイザー制があることです。他の大学や専門学校ではあまりない1クラスに1人担任の先生がいて、学校のことや進路についてなどの相談を気楽にすることができます。優しい先生や面白い先生ばかりでとても話しやすいですよ(笑)。2つ目は、附属幼稚園が敷地内にあることです。学外実習に行く前に附属幼稚園で実習をする機会があり実際の保育現場を観察することができます。3つ目はピアノの授業です。私は大学に入学する前、小学校や中学校の授業でしかピアノを弾いたことがなくほとんどピアノ未経験でとても心配していました。「ピアノが弾けないなら保育士になれないかもしれない」とも思ってしまいました。大学に入学してみると私と同じようにピアノを両手で弾くことが出来ない人がたくさんいましたが、入学して約1年経った今、私も周りの人もみんな両手で弾けるようになっていました。郡山女子大学にはピアノの授業に10名ほどの先生がいたり、たくさんのレッスン室があり空いている時間にピアノを練習に集中したりすることができます。

郡山女子大学の幼児教育学科は保育者になるために必要な知識や技術をたくさん学ぶことができる場所だと思います。みなさんの進路選びの参考になると嬉しいです。頑張ってください!!!

★今回紹介した2人は、昨年度末に高大連携事業の一環で、2年生の『保育基礎』の時間に講師として来校してくれました。大学での学びの意義や、保育現場での体験に基づき、保育者としてのやりがいや使命などについて語ってくれました。保育関係を希望する生徒の皆さんはぜひ参考にしてください。